

第2章 瑞穂町社会福祉協議会が目指すもの ～現状と課題～

1 瑞穂町の地域福祉を取り巻く状況について

瑞穂町においても他地区同様に少子高齢化が進んでいます。また近年では人間関係の希薄化や社会的孤立、ひきこもりや虐待、生活困窮者の増加といった多様な課題も発生しており、それぞれに早急な対応が求められています。

しかし、これらの支援のすべてを行政や公的な制度だけで解決していくことは人員体制や財源の確保などあらゆる面で困難です。

誰もが安心して住み慣れた地域社会での生活を続けていくためには、住民同士や社協、行政、福祉関係者等が互いに連携して人々がささえあう地域福祉の推進が必要です。

これまで社協では、地域住民との懇談会や行政及び福祉関係者との連絡会などから、地域の実情や課題を見出し、互いに連携して、ささえあいの仕組みづくりやボランティア活動の推進及び住民参加型の独自サービスを創設するなど、地域住民とともに地域福祉を進めてきました。

最近ではボランティアが自主的に企画・運営し、地域の中の孤立防止や皆で楽しい時間を過ごす「サロン活動」も数を増加させており、地域住民が主体となった福祉活動が定着化するなど、地域福祉が推進しつつあります。

地域福祉は、地域住民や福祉関係者等が連携・協働することによって実現するものです。社協はこれまで以上に、地域住民や行政、福祉関係者とともに地域福祉を推進していきます。

